

日刊 勤労千葉

84. 1. 17

No. 1540

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

いざやう！三里塚「国鉄」決戦勝利の84年へ

勤労千葉 団結旗びらき 報告1



組合員・家族・共同団体の仲間 380名

一月十五日、「八四年 勤労千葉団結旗びらき」が、全支部からの組合員をはじめ、内外の闘う仲間・来賓三八〇名の結集をもって盛大に開かれました。

「八四年『三里塚―国鉄』決戦の勝利で、日本労働運動の戦闘的高揚をきりひらけ」との鮮明なスローガンのもと、定刻の十三時には会場の千葉県労働者福祉センターは、組合員、家族会、三里塚を軸とする闘う仲間、共闘労組の代表等の熱気でうめられました。

第一部は、桜沢特執の開会あいさつで始められ、主催者を代表して、水野副委員長があいさつしたのち、県労連・三里塚芝山連合空港反対同盟・社会党県本部・顧問弁護士・東京実行委・関西実行委・OB会等々より連帯のあいさつがなされました。勤労千葉を代表して中野委員長が八四年を闘う決意を明らかにして、第二部に移りました。

片岡執行委員の司会のもと、第二部は、委員長による恒例の鏡びらきで全員元氣よく乾杯ののち、津田沼支部平野栄吉さんをリーダーとする「ブルイグラス」演奏と各支部対抗新春歌謡大会のアトラクションで会場は拍手足拍子も入る熱気と談笑と樽酒のかぐわしい香り、なごやかなうちに最高潮の約四時間を楽しみました。

最後は、山口副委員長の閉会のあいさつの中の、全執行部・参加者がスクラムを組み合つてのインターナショナルの大合唱と拍手、布書記長の音頭による会場も割れようとはばかりの団結ガンバローによって大成功のうちに、八四年への出陣式を終了しました。何号かにわたって、あいさつ、主な発言等を紹介したいと思います。

開会のあいさつ

総反撃への戦闘宣言として

|| 桜沢特別執行委員 ||

八三年は、「戦後政治の総決算」をかけた中曽根の軍事大国化・改憲へのすさまじい攻撃がふきあれた一年間だったと思います。とりわけアジア侵略にむけて国内総動員体制を確立するためには「国鉄」と「三里塚」の解体が不可欠だとの位置づけをもって支配者側からの攻撃は一層激化することは明らかでしょう。しかし、本日、八四年を迎えて、こうして勤労千葉と国鉄の仲間そして三里塚を闘う仲間を先頭とする多くの労働者・住民の結集をもって敢然と闘う新年を迎えたということの中に勝利の展望は明らかだと思えます。本日の旗びらきを総反撃に決起し、いさか戦闘宣言の場としようではありませんか。

主催者あいさつ

八四年を、「三里塚―国鉄」決戦勝利の年としよう

|| 水野副委員長 ||

結集された全ての皆さん、あけましておめでとうございます。さて、今年、私たちの目にまつ先にとびこんできたニュースは、一般消費税・物品税の大巾値上げ、運賃の大巾値上げ、そして米軍艦載機の発着訓練用の空港を三宅島に拡張建設するといふ、今年の動向を象徴するものといわねばなりません。

昨年、中江選挙ではじまり、総選挙で終った年でもあります。中江選挙では反戦反核を掲げ勤労千葉の運動を地域に拡大するため六カ月間にわたる苦闘の中で大きな勝利をおさめました。以降、参議院選、10・9三里塚、11・